



「良書ご案内」

書籍名	がん治療選択	著者名	金田 信一郎
出版社名	ダイヤモンド社	発行年月	2021年 7月

誰もが人生でガンに出くわす可能性は十分ある。大半の人達は、突然の告知で動揺し、医師にお任せ、標準治療のベルトコンベアに乗っかり手術台に向かうことになる。

しかし手術することは人生の一大事である。本書から教えられたことは、自分の病気と治療法を理解し、運命は自分で決めることだ。

著者はフリーのジャーナリスト、近所のクリニックでの内視鏡検査で食道ガンが見つかる。クリニックで紹介された東大病院に入院するが、その後がんセンター東病院へ転院する。理由はトップクラスの食道外科医が東病院にいたためだ。そこでも最終的に最先端の手術を回避して放射線治療を選択することになる。

著者が医師のすすめる5年生存率の高い手術から、生存率が低くなる放射線治療を選択したのは、自身の人生観に根差したものだ。

手術で食道を失えば、これまで通りの取材を続けることができなくなる。このことは同じ病気をした先輩から教えられた。医師は救命が最優先で、患者の術後の生活については教えてくれない。

著者は、手術という選択は自分のライフスタンス、生き方と合致しないと判断する。「いかに人生が短くろうが、残された時間を思うように活動したい」という強い思いからである。

著者が自身の納得できる医療に辿り着けたのは、記者という仕事上での経験による。テーマに関して取材と資料を読み込み続け、納得した上で原稿を書くといった日頃の仕事スタンスがもたらしたものだ。

医師と患者の間には大きな情報ギャップがある。医療機関を受診して誰もが思うことは、病状に関してもっと詳しく説明してほしいということ。

複数の治療法についても教えてもらいたい。
セカンドオピニオンに関してもころよく協力してほしい。

現在、医療機関で情報開示が進んでいる。ネットで検索すれば、「食道がんの手術が多い病院ランキング」が掲載されている。

病院名、所在地、生存率係数、全症例数、患者の平均年齢、ステージ1期から4期までの症例数と生存率がわかる。治療成績が高い実力病院では、外科切除と同じ効果が期待できる治療法を導入している病院もある。

患者が出来ることは医師と病院を選ぶことしかない。
自分の人生は自分で選択し決断したい。

岩城

編集後記

新年 あけましておめでとうございます。今年も一年よろしくお願い致します。

今年は4月に診療報酬改定があり、本体は+0.43%ですが薬価が-1.37%の、全体で0.94%のマイナスと決定。バクロン株対応も有り医療業界の正念場が続きます。

今年は2月に冬季オリンピックが、11月にはFIFAワールドカップがあり日本は予選突破を目論みます。

新型コロナウイルスにもアスリートにも負けない気概で、みなさま、一年間過ごして参りましょう!

発行所：株式会社ライフデザイン研究所 所在地：〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-4-87サビル2F

Tel 06-4708-6844 Fax 06-4708-7067

編集人 伊藤

